

寸言

株式会社日立インダストリアルプロダクツ
常務取締役 電機システム事業部長
奥 慎太郎



モノづくりの力で、ステキな未来をつくる

2024年10月に日本航空宇宙工業会に入会させていただくことになりました。入会にあたりご理解、ご支援いただきました関係者の皆さまに改めて御礼申し上げます。

株式会社日立インダストリアルプロダクツ（以下、日立インダストリアルプロダクツ）は、2019年に日立グループの大型産業機器事業を担う会社として株式会社日立製作所（以下、日立製作所）から分社し、その一事業部門である電機システム事業部は、モータ、発電機の回転電機品やインバータ、無停電電源装置（UPS）などのパワーエレクトロニクス製品の設計、製造、販売、サービスを提供しています。

日立製作所は、創業者である小平浪平が1910年に久原鉱業所日立鉱山付属の機械修理工場として創業、1920年に日立製作所を設立し、100年以上の歴史があります。現、日立インダストリアルプロダクツの日立事業所（茨城県日立市）は創業の地として、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」を企業理念に、国産初の5馬力モータを製作しました。当社のパーパス（企業理念）『モノづくりの力で、ステキな未来をつくる』は、すべての人の生活を豊かにし、あらゆる産業にとってステキな未来をつくりたいとの思い

が込められています。創業以来、磨きあげた技術力で、鉄道用モータ、マイニング用モータをはじめ、原子力、火力発電所などの10,000kW級のモータ、発電機をグローバルに展開し、昨今では世界的な課題であるカーボンニュートラル社会の実現に向け、EVチャージャなどの強いプロダクトとIT×OTを連携し、高付加価値を提供しています。いずれもチャレンジングな開発でしたが、当社は更に難易度の高い航空事業への参入も視野に検討を進め、地球規模の課題に取り組んでいきたいと考えています。しかしながら、航空事業は非常に高い品質、信頼性が要求され、またモノづくりにおいてもより高度な工程・品質管理が求められる事業であり、当社としては経験のない事業になります。今後、さまざまな壁にぶつかるとは思いますが、創業以来、培った技術と本協会の皆さま方のご支援により、必ず、乗り越えられると確信しています。

当社は、2050年の世界全体の、そして航空宇宙業界のカーボンニュートラル実現への可能性に向け、業界の発展に強い意思を持って取り組んでいきます。今後とも多大なるご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。